



北の女性たちは、敗戦の混乱の中から、女や子供たちの命と暮らしを守り、女性差別や古い因習と闘い、男女平等・平和な社会の実現のために立ち上がってきました。道立女性プラザは、全道の、これらの女性たちの活動の拠点として長い歴史を担ってきました。

しかし、一昨年「保育園落ちた、日本死ね」のツイッターは本当にショックでした。40年以上も前の私の保活と変わらないのですから！しかも長時間労働や経済格差によって女性も男性も息絶え絶えです。今までの活動は何だったのか、とめげることもあります。男女共同参画意識は確実に高まっています。だからこそ、その実現を阻んでいる女性たちの苦しみと怒りは増えています。

この現状を一步でも打破する施策をあらゆる場で提案し実行することが急がれます。女性プラザも他組織と連携しその一端を担ってゆきます。

北海道立女性プラザ 館長 笹谷春美

女性の自立と社会参加を促進し、男女平等参画社会の形成に資するという女性プラザの設置目的は、女性の活躍推進と根源を同じくするものであり、今後とも幅広い取組を進めていきます。

なお、女性プラザでは、指定管理者（公益財団法人北海道女性協会）が公の施設として様々な事業を行っているほか、協会が道と連携して女性の活躍推進を含めた広範な取組を進めているところです。

[北海道女性の活躍支援センター]

総合相談、専門相談、出張相談、訪問相談など

[女性のための法律相談室]

札幌市（女性プラザ）のほか、全道6圏域で開催

[男女共同参画講演会]

札幌市（女性プラザ）のほか、全道6圏域で開催

## 北海道立女性プラザについて

北海道立女性プラザは、北海道における女性の自立と社会参加を促進するための中核施設として平成3年11月に開設され、次のような事業を行っています。

- ① 女性に関する諸問題や男女平等参画に関する
  - ・情報の収集、提供、調査研究しています。
  - ・研修会や講演会等を主催するとともに、他団体の開催を援助しています。
- ② 女性が行う自主的な交流活動、文化活動、健康づくり活動を援助しています。
- ③ 女性に関する諸問題について相談に応じています。